

## 保存緑地内の行為について

### ■保存緑地の概要

指定番号	18	指定年月日	昭和50年6月5日
緑地名	仙岳院保存緑地	指定面積	約0.69ヘクタール
指定区域	仙台市青葉区東照宮一丁目 地内		
主な植生	スギ, マツ, ヒバ		
保全計画	市街地からの展望域における建築物の規制に重点をおく。		
備考	<p>仙岳院は、比叡山延暦寺の末寺で、承応3年(1654年)、仙台藩二代藩主伊達忠宗が東照宮を創建した際に、東照宮の別当寺として建立され、仙岳院本堂は仙台市登録の文化財に指定されている。</p> <p>由緒ある仏閣と往時をしのばせる屋敷林的樹林が一体となった伝統的な都市景観を特徴としている。</p> <p>平成19年仙台地方裁判所による強制競売で緑地西側部分の所有権移転。新たな所有者から約1,000㎡の木竹の伐採届が提出され、これに対する禁止命令を通知したが、伐採が実行された。平成20年木竹の伐採禁止命令違反で仙台北警察署に刑事告発、平成21年杜の都の環境をつくる条例違反で起訴され罰金刑が確定した。平成23年更に所有者が変わり、マンション2棟が建設された。</p> <p>なお、寺院中央部には保存樹木のクロマツが植栽されていたが、松枯れにより平成29年、指定を解除した。</p>		

### ■計画されている保存緑地内の行為

寺院に関連した建築物の新築、山門の改修、及び木竹の伐採

#### ・建築物の概要

構造：木造2階建 建築面積：204.15㎡ 延床面積：333.87㎡

用途：法事の際の会食場及び居宅

#### ・山門の概要

高さ：5.37m 幅：7.11m

#### ・木竹の伐採の概要

伐採本数：54本

伐採する主な樹種：スギ, ヒバ, マツ

■ 保存緑地の状況



写真①







写真②



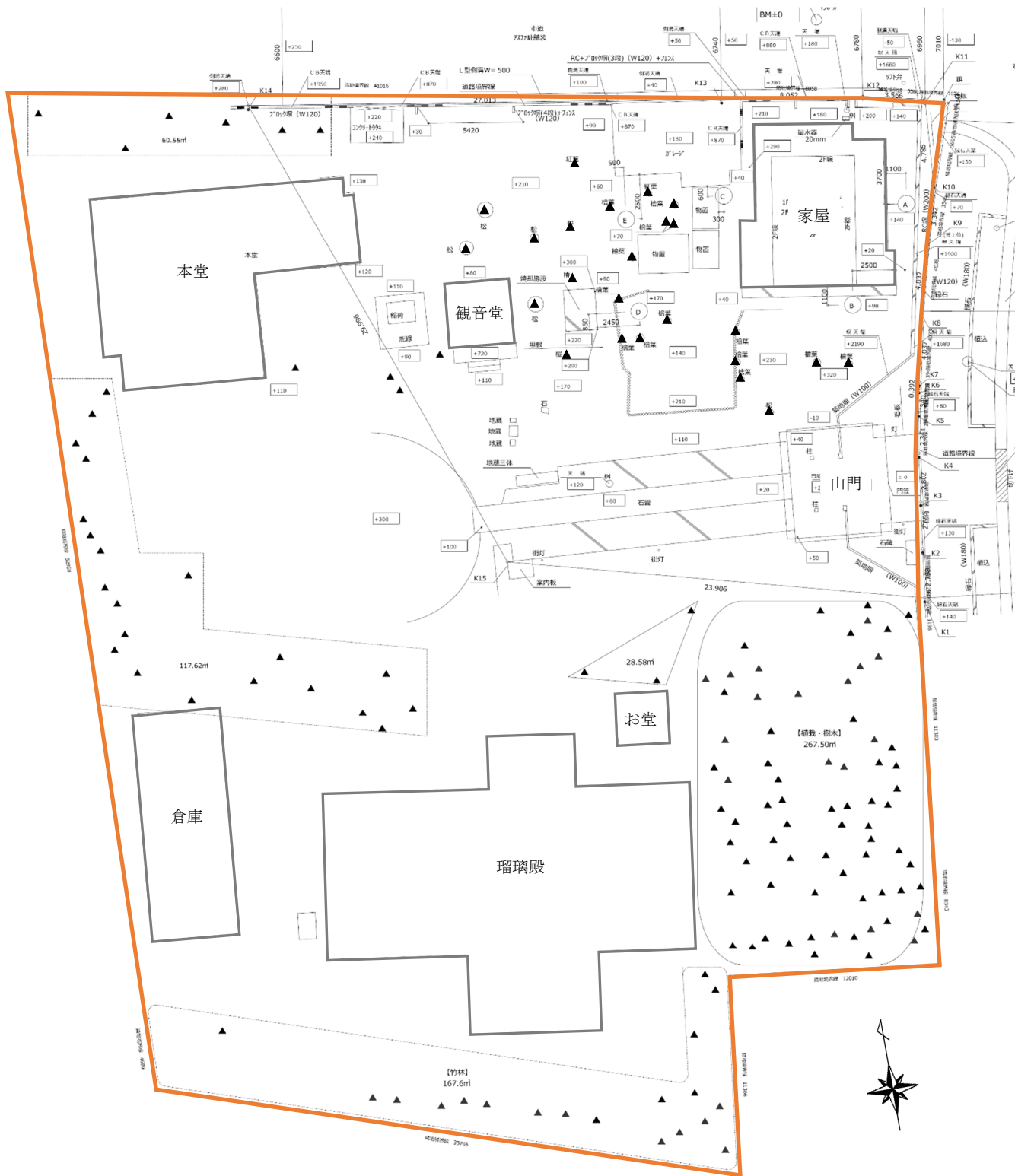
写真③



写真④

凡 例			
	保存緑地指定区域		既存建築物
	仙岳院敷地		写真撮影方向, No.

# 敷地現況図



- 敷地面積：2,743.93㎡
- 樹木本数：151本
- 建替対象となる既存建築物  
の建築面積：85.63㎡

**凡 例**







	仙岳院敷地
	既存建築物
▲	樹木 (幹周 20 cm超, 樹高 1.5m超)

# ■ 建築計画図



- ・敷地面積：2,743.93 m<sup>2</sup>
- ・樹木本数：97本
- ・新築する建築物の  
建築面積：204.15 m<sup>2</sup>

**凡 例**

	仙岳院敷地		建築に伴う伐採木 (24本)
	既存建築物		安全確保のための伐採木 (12本)
	計画建築物		管理行為による伐採木 (18本)

## ■スケジュール

	令和2年度		
	7	10	12
木竹伐採	↔		
山門改修	←————→		
建物解体	↔		
居宅等建築	←————→		

## ■本市の対応方針

行為の内容は、土地所有者である寺院が自らの事業の用に供する建築物の建築と支障になる樹木の伐採、併せて隣接するJR仙山線の安全運行のための伐採、参拝者の安全確保のための管理行為による伐採を行うものであり、やむを得ないものと判断する。

なお、建築後は可能な限りの復植を行うよう、所有者と協議を行う。